

2025 年度東京音楽大学一般選抜（B 日程） 学生募集要項 作曲指揮専攻（指揮）

2025 年度に東京音楽大学一般選抜（B 日程）にて、作曲指揮専攻（指揮）を新たに募集します。入試日程、課題等は、以下の通りです。

一般選抜（B 日程）に関する詳細については、必ず「[2025 年度東京音楽大学一般選抜（A 日程・B 日程）入学試験募集要項](#)」（以下、「[2025 年度募集要項](#)」）をご確認ください。

1. アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

東京音楽大学では、入学者が本学において実りある学びを円滑に行えるように、アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）を定めています。これは、本学を受験する皆さんに、入学前に身に付けておいていただきたい能力や姿勢を示す基本方針です。本学の入学試験や選抜方法には、アドミッション・ポリシーが反映されています。

○大学において専門的に音楽を学ぶにあたり、楽譜を読む力、音を聴く力、表現の基礎となるテクニック、様式を捉える力、楽典の知識が、一定のレベルに達していることが重要です。

○音楽の学習には外国語も必要です。

○専攻によっては、ピアノ演奏や新曲視唱、新曲視奏の基礎的な能力も必要です。

専攻のアドミッション・ポリシーは次の通りです。

●作曲指揮専攻（指揮）

指揮者としての将来像を明確に描き、リーダーとして活躍できるように努力する覚悟を持っている人材を求めます。そのために、高いレベルの音楽基礎能力と、コミュニケーション能力が必要です。

2. 出願資格

出願資格については、「[2025 年度募集要項](#)」7 ページをご確認ください。

3. 日程一覧

出願期間	2025 年 3 月 1 日(土)～3 月 7 日(金)	消印有効
試験期間	2025 年 3 月 18 日(火)～3 月 19 日(水)※	
合格発表	2025 年 3 月 21 日(金)15：00～2025 年 3 月 23 日(日) 17：00	
入学手続期間	2025 年 3 月 22 日(土)～3 月 26 日(水)	消印有効

※出願状況等により 3 月 17 日（月）にも一部試験科目を実施する可能性があります。

4. 出願手続および出願書類

出願手続および出願書類については、「2025 年度募集要項」11～14 ページをご確認ください。

5. 併願について

第 2 志望として全専攻との併願可能。

6. 試験科目

対象により試験科目が異なります。

《対象 1》 下記のいずれかに該当する者

- ① 2025 年度入試（総合型選抜、一般選抜 A 日程等）において、本学のいずれかの専攻・コース等の入試を受験し、不合格だった者あるいは入学手続きを行わなかった者
- ② 一般選抜 B 日程において、他の専攻・コース等の入試に出願する者（指揮を第 2 志望として併願）

●入学試験科目

1. 小論文（1 時間）

2. 面接

《対象 2》

一般選抜 B 日程において、本学 2025 年度入試に初めて出願し、かつ指揮を第 1 志望とする者

●入学試験科目

一般選抜 A 日程と同様の試験科目。

※ただし、外国語は調査書の評定を利用する（大学入学共通テスト等は利用しない）。

1. 外国語

調査書の評定を利用する。

※英語を母語とする者または英語が公用語となっている国・地域に居住する者で、通常の課程による直近 6 年間の学校教育を英語で受けた者は免除する。ただし、通常の課程による直近 6 年間の学校教育を英語で受けたことを証明する書類を提出すること。

※卒業後、5 年以上の経過者または、廃校、被災その他の事情により高校から調査書が発行できない場合は、本学の英語の試験を受けること。

2. 楽 典（50 分）

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

3. 新曲視唱 8 小節程度の旋律を 1 曲

別室で 1-2 分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

4. 聴音 (30分) 旋律聴音 (8小節程度)各専攻共通1題および専攻別1題
和声聴音大譜表による四声体和声 (密集)、8小節程度



※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

5. 副科実技 (ピアノ)

※すべて暗譜で演奏すること

- (1) 音階：同一調号による長調と短調を、任意に選択して演奏する。

ハノン No.39、または本学指定の音階楽譜 (本学ホームページよりダウンロード) のいずれかを使用すること。ハノン No.39 の場合は、速度は♩=76 程度以上、長調は繰り返しなしで終止カデンツをつけ、短調は和声的短音階を1回弾いた後に続けて旋律的短音階を1回弾き終止カデンツをつける。本学指定の音階の場合、この速度は二分音符=72 程度以上とする。

- (2) J.S.バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲 (プレリュードとフーガ)
(3) 古典派ソナタより任意の1曲 (第1楽章または終楽章。専攻別曲目記入票に楽章を明記すること。)

※作品番号、調性なども記入すること。

6. 専攻実技

- (1) 聴音 (単旋律、二声および木管四重奏)
(2) 新曲視唱 (各種音部記号による。ただし、メゾ・ソプラノ、バリトン記号を除く)
(3) 簡単な旋律のピアノ初見弾き歌い
(4) スコアリーディング (2管編成程度の管弦楽曲)
(5) 指揮実技
 (イ) 2管編成程度の管弦楽曲の初見指揮 (演奏は2台のピアノによる)
 (ロ) ハイドン：交響曲第85番変ロ長調 Hob. I :85 ランドン版 (演奏は2台のピアノによる)
 (ハ) モーツァルト：歌劇『イドメネオ』序曲 ベーレンライター版 (演奏は2台のピアノによる)
 ※ (ロ) (ハ) は暗譜で演奏 (指揮) すること。
(6) 演奏実技 (ピアノを含む任意の楽器を演奏。無伴奏。声楽不可)
(7) 和声 (バス、ソプラノ課題「初級程度」1時間)
(8) 小論文 (1時間)
(9) 口述試問